

刊夕 日九廿月十

常警每日新聞

定価 一部五銭 五部十銭 郵税五銭
 廣告料 五部十二字 一行五銭 五部
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 編集者 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

秋の花壇 (五)

簡単な温床の仕方

寒さを厭ふものとか、或ひは春早咲きにするものとかのために温床を作る必要があります。

まづ巾四尺、長さ二間の温床を作るとします。最も簡単なことは、その周囲を煉瓦か藁を編んだもの(炭俵でも)で圍んで、その上に障子で屋根をします。その中の土を一尺ほど掘り、それに藁とか糖とかを敷き下肥や馬糞をうつてその上に土を被ひますと、熱が發して七十度位の温度が三週間も保ちます。

ノート 一升に約二百五十から二百八十粒位ある一疋の蠶の吐く糸は良いものになると一キ米もある。

屋根の障子には油を引きますと、よく光線が通りまゝ、夜は其の障子の上に藁か藁をかけ、晝間はとつて置きます。

フリージヤのやうな寒さを厭ふものは、この温床で育てます。

フリージヤは鉢植の方が便利です。これは凡そ直径四五寸大の鉢に球を六個位入れればよい。

なほ注意することは、どの球根でも、芽のところがいたんでゐるか否かを、よ

【朝】味噌汁—馬鈴薯
 【晝】がんとどろ煮付
 【晩】手鍋—牛肉 葱
 生玉子いとこん



浪しぶき

飯村 閑舟
 曉の……
 太平洋の波蹴りて
 飛べよ弾丸 超スピード

モータボートよ
 たゞ一筋に
 心ゆくまゝ
 汐けむり立て、
 浪たて、
 × ×
 太陽の……
 雲破りつゝ水平線に
 ハイライトの魅惑の強さ
 金波銀波に
 白いラベンに
 迂廻すれば

バツト飛び散る
 浪しぶき
 S.A.D.を歌ふ

雨あがり
 静かな墓に たゞひとり
 ぬかづけば險も熱く
 濡れた涙が地に落ちて
 くもる眼鏡を そつと拭く
 ゴング鳴る……
 静かな墓に たゞひとり
 わびしくも遠く昔を
 あゝ、しのばせて
 君とスクラム組んだ
 その日が 忘れられず

いつか来て……
 語つた山路の S 字型
 いまも變らぬ森から覗く
 青い薔も そのまゝに
 残れど淋し
 わが悲哀
 秋の 便り
 鳳 異 都子

かんくんと照る陽には
 反抗心も出ようが
 この陽には
 すうと身をすぼめてやり
 たい心
 音たて、吹く風は秋
 答へてくれぬ今を前にし
 て
 話しかける様な
 頼りない氣持で
 貴方の便りを待つてゐる
 のです

秋と冬の 中折ボーン

優良國産品

特選 ウール帽	¥2.00
ク フワー帽	¥5.50
セラフイック帽	¥6.00

スマートな型と色……
 御年配若人向……
 好適品豊富に取揃へ

ツルヤ

電一四〇

喜多流 謡曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

平田町九六
 喜多流 謡曲 白土會
 詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

井坂 醫院

平町田町 電話五五九番

専門
 産科 婦人科 花柳病科
 ◎入院隨意

電話 79 番

貨切……の御用命は!!!

是非 迅速—親切—御客様本位の……

平三丁目警察署通り
 平タクシーへ

▲長距離は特に御相談に應じます。

紅葉の山かけには毎年 御利用さしていただきました

折詰辨當やすし折詰を
 何卒今年も御利用さして下さる様
 御願致します

平二警察署裏通り 魚清食堂

電話六六三三
 出前やさん至急入用

透明障子紙

意匠登録 第六三三七八號

- ▼本品は室内用、室外用の二種あり
- ▼室内用は張方従来の通り生糊にてよろし
- ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
- ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す
- ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり
- ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)

◎定 價
 ▼室内用 六十錢
 ▼室外用 八十錢

◎室外用ノリ 一罐 二十錢

平町四丁目
 夕伊勢屋 阿部 商店
 電話四五番

●賣弘め中粗景手拭一本呈上

吉田眼科病院

平細屋町 電話六八番
 醫學士 吉田久雄

月曜是非

買物は地元で

先日の本紙に一千七百圓の嫁入り仕度を平町の商店から買ひ込んだ記事が掲載されて居る。

當地方の人々の概念として少し纏つた買物は、東京へ飛んで行つた方が割安であり、且つ便宜が多いと考へて居る、是れは大きな錯覚だといはねばならぬ。

平町でこそ嫁入り仕度一千七百圓の商賣は、一寸稀らしいかも知れぬが、是れが本場となればザラにある事であり、賣る側にしても有難味が違ふ、地元としては稀れな大金が一度に轉げ込むとなれば商人側の賣る氣構へに奮發が付き、無理な押し引きにも眼を閉じて我を折り、掛け引きなしの勉強を發揮する事であらう、その上一生福の神様扱ひにされる事は必定だ。

夫れが本場となつては腰が強い、お客の無理が何處迄通るか、仲々思ふ存分な譯には行かない。

斯ふ考へると矢張り土地の商品を利用する事が結局お客の利益となる。

夫れと殊更らに汽車賃掛けての暇潰しを敢えてして大金を東京へ態々落しに行くと、一体どうかと思ふ是れ即ち田舎者の事大思想だ、血氣の若者が東京へ走る事のみが地元の問題でない、金までが走つて都會に都會にと集中する。

地元疲弊の對策として、ヤレ中元歳暮を廢せの、軍人の歡送迎費の節約から、果ては悔みのお返し迄徹に入り細をうがつた事にまで決議や申合せが續々現れるが「買ひ物は地元で」のスロガンに掲げたのにお眼にかつた事が一度もない、地元の商店主は益々青くなる計りだ。

商品にしても其通り、隣りの麥飯で、酒や醬油の様な物まで、地元の物より劣悪であつても、移入品を有

難がる、これでは中味でなく、レツテルを食つて居るの、此處にも都會中心主義の祟りがある。

地方疲弊の對策他なし、自力更生！夫れには千軒共暮しの理法に基き、地元で間に合ふものは地元で果す觀念を固め、先づ足許の力を強める事だ。

此点から考へて嫁入り仕度に大金を、土地の商店に落した遣り方は我意を得たりと云ふべきである。

濡米拂下げは

冷害地ののみ

其他は不許可

郡下農家の目算狂ふ

郡下の濡米拂下申請は平支所管内三千八十俵、勿來管内千四百五十俵、四倉管内千二百四十俵、合計四千七百七十俵の多數に及んだが大削減され入遠野村が百四十五俵、永戸、箕輪組合村百廿俵、澤渡、三坂百廿七俵、川前九十八俵、合計四百九十俵で全部冷害の多い山間部落のみに許可され其他の申請は不採用となつたが縣では今回許可されなかつた農村の爲めに今後三ヶ月に一回位づつ、なので平支所では直に各農村の状況調査を行ふと

生産調べ

平町役場

平町役場最近の調査による町内に於ける本年度各種生産品左の如し

- ▲園藝農産物(梅一八〇本) 收穫五石、八十五圓
- ▲桃(三三六〇本) 八、九六
- ▲貫二千六十圓 ▲茶(製造戸數一六戸) 煎茶一一二貫四五九圓 ▲家畜兔二八〇頭一九六圓(生産六九〇頭、斃死四八頭)

義捐金を

平局員醸出

平郵便局管内各局員は東

記念日に際し奉讀式を舉行する由

麥飯に梅干が

最も多い

第三校生の辨當

富岡増線

基礎工事終了

平第三小學校では目下全校生徒の營養研究の爲め嗜好物調査を行つて居るが既に調査を終へた四年某組の生徒四十六名に就いて見ると大好物はトロロ、煮豆、麵類、貝類等で次は油揚、納豆、味噌汁の順、反對に嫌ひな物は兎肉が最も多くて十一名、おはぎが六名、牛乳の六名が主なるものであるまた生徒の辨當を調査した處井三名は麥飯、白米は十二名、小豆飯、餅が各一名でその副食物は梅干、鹽引、イナゴ、菜漬、揚物等が最も多いと

既報平郵便局では過般日本無線電信會社より拂下となつた東京原町間直通線を利用して平富岡局間に二回線の市外電話を増設工事中であつたが此程大體の基礎工事を終へた同線の開通は来月一日頃の豫定である

磐炭二度び優勝

昨日の福島高商對抗競技

福島高商對抗磐炭の第三回對抗陸上競技會は昨日午前九時より磐炭トラックに於て開催されたが陸の王者を以て誇る磐炭チームだけにその戦績目覚しく新記録續出亦もや五二・五對二二・五の大差で榮冠は三度び磐炭チームの頭上に輝やいた、因に各種目に於ける戦績左の如し(○印新記録)

- ▲百米一宇野(磐)〇二秒二二加藤(同)三河内(商)
- ▲二百米一宇野(磐)二四
- 一二米九二下野(商)三浦(同)▲走高跳一川又(磐) 米七〇二高橋(同)
- (同)木下(商)三磯部(同)
- 同花澤(磐)▲圓盤投一川又(磐)〇三三米二六二白土(商)三三浦(同)▲槍投一白土(商)〇四六米一四二木下(同)三石川(磐)▲三段跳一金成(磐)〇一三米一五二木下(商)三高橋(磐)▲棒高跳一磯部(商)三米一〇二管野(同)三石川(磐)

春陽勝つ

鐵道野球戦

既報平鐵道俱樂部の秋季野球大會は昨日午前九時より平商、第一兩グラウンドに於て開かれたが今春優勝せる機關庫K俱樂部は第一回戦で驛ホームに破られ番狂はせを見せ、いづれも熱戦を演じ結局車掌チーム機關庫(春陽)の決勝戦となり十四對五の成績で春陽チームの優勝、カップを獲得した、準決勝戦よりの成績左の如くである

- (準決勝)
- 車掌所10—9驛ホーム
- 春陽6—5三振
- (決勝戦)
- 春陽14—5車掌所

四時橋起工

明二十日に

川部村地内縣道三株線に架設される四時橋は既報の如く工費一萬二千圓で架替えることに決定したが明三十日午前十時から現場で起工式を擧げ直ちに本格工事

に着手すると

教育議案協議

石城校育部會役員會は今二十九日午前九時より平第一小學校會議室に開き来る十一月十一日相馬郡中村町小學校に於て開催される東部聯合教育總會の提出議案に就いて協議した

籠球參加學校

既報来る三十一日午前九時より平第一、第二兩校グラウンドで郡大會の豫選を兼ね開催される第三區(平町外十三校)小學校兒童籠球大會の

お断り

「高麗橋を中心として」真木翁の懷古事談は記事輻輳に付本日休載申込み校は目下の處男子高等科が平第一、内郷、高坂小川第一、同尋常科が平第一、第三、女子尋常科が第二、第三の七チームであるが組合せ其他當日決定する由

小林所長出福

小林土木監督所長は今明二日間福島市に開かれる冷害地救済土木事業に關する縣下土木監督所長會議に出席のため昨日出福した

刑事課長來平

本縣刑事課長原吉三郎氏は平署に於ける司法事務打合せのため今二十九日午前十時半來平

平町人事

△四丁目五一 小池養之助長女玲子さん

中等 教員野球大會

一、日時 十一月三日(明治節)午前十時半
一、場所 縣立磐城高等女學校々庭
一、参加 磐中 磐女 平商 各校教職員
一、方法 優勝旗争覇軟式リーグ戦

主催 常磐毎日新聞社
後援 磐陽野球聯盟
同 平町軟式野球協會

大優勝旗の調製成る

馬目染物店頭にて

豪華燦爛として異彩を放つ

本社主催「中等學校職員野球リーグ戦」の優勝チームに本社から贈與する大優勝旗は既報の如く平町五丁目馬目染物店が入念調製中の處此程見事に完成同店頭飾られ異彩を放つて居るがその豪華燦爛たる出来栄に行人の足を留めてゐる

病弱婦の救護

當時住所不定信夫郡水原村生れ

昨日の食堂部

白米七俵

大繁昌のバザー

賣品を悉く賣り盡す

昨日の磐女バザーは午前九時の定刻前から押すなりの大盛況で入場者は無慮一萬二千餘名、賣上が裁縫手

藥品部二千圓、食堂部七百圓、化粧品部百圓、圖書手工品部五十圓、合計約二千八百五十餘圓に上り大難香の食堂では白米七俵を費したといふ繁昌振り向第二日の本日は悉く賣り盡して賣品なく正午で打ち切りとなつた

書道研究出張

平第一 中村忠榮、根本榮雄、第二 熊谷保高、常陸露之助の各職員は来る十一月三日より二日間茨城縣大津小學校に於て開催される書道研究

四通八達の要衝に

此のモダン橋成る

大石土木課長の祝辭 昨日高麗橋の渡初め

高麗橋竣功式は昨二十八日午前十時から現場で大石土木課長(代理小林平土木監督所長)井上、野崎兩縣議外各官衛、學校長、名譽職其他百五十名參列の下に舉行された祭儀を終つて型の如く式次を進め工事功勞者として江口忠一氏に金盃一個を添へて感謝状を贈呈土木委員の七町議に感謝状を贈り猪狩家三夫婦を先頭に投餅と色紙を撒きつゝ厳かな渡り初めを行ひ終つて

少女の足許で

チャリンと音

紙幣取り交ぜ四十五圓

平町舊城跡四末吉氏長女安達シゲさんは(一)今二十九日午前十時頃所用あつて平町役場前を通行中下駄に觸れたチャリンといふ銀貨の音に足元を見ると五十圓銀貨に紙幣をとり交ぜ四十五圓

明日の天気

今晩も明日も北西の風天気良き見込み

明日の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話 殿られた名主の子
- 山村 敏行
- 後六、二五 基礎英語講座(二九)
- 岡倉由三郎
- 後七、三〇 趣味講演
- 木谷 蓬吟
- 後八、〇〇 東海道演藝道中(第十一夜)解説

今晩の部

- 後九、〇〇 特輯演藝週間(第二夜)漫談辯士時代
- 古川 緑波
- 後九、三〇 時報ニュース
- 氣象通報 番組象告
- 前六、三〇 基礎獨語講座(二二)
- 岡本 修助

日暮れて道遠く

苦悶の末行倒る

唯一人の肉親である父を捨て、郷里を出奔、各地で土方働きをして暮らして来たが永い年月の放浪生活から最近悪性の痔疾を患ひ郷里戀しさに東京方面から徒歩で歸郷の途次右の次第と判明平町の行路病舎に收容した

全署員が不寝番

目星しい捕り者はない

平署では昨二十九日夜十時から全署員を動員し管轄全區域に亘つて特別警戒を執行したが結果は窃盜二名、詐欺四名、賭博九名、横領一名を検挙し目星しい捕り者はなかつた

裁判所たより

△既報酒を飲ませると強要

△既報酒を飲ませると強要

浮名の比喩

近斬立首頭

(編輯上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

一七〇

流石に立派な死(一)
「大きに加減が宜しくなり
ました」
「何うたモット湯を注すか
な」
「エ、まだ温るうございま
すから」

湯桶の所へ来て長兵衛頻りに首筋を洗つて居りますと青竹の湯桶の中から繰出したる銀杏ほの槍、長兵衛の脾腹の所へスツと来た、大抵の者ならば其儘に不意を突かれます筈、何をしても油断のございませぬ元締長兵衛、少しく後へ身體をよけ槍先をシツカリ掴んで

「御前卑怯なことをなさるな、素より當家へ来るからは命を棄てる幡隨院長兵衛何故尋常な事をなさらぬ、天下の旗本が大勢寄つて町人一人を欺しすかし湯殿へ案内して、湯桶の中から槍とは餘り卑怯ぢやアねえか素より腰の物は取りあげられ素つ裸になつた長兵衛が且那方を相手に何うする事も出来やアしねえ、例合一人や二人は失禮ながら取つて投げる腕前もいではねえが、斯うなつてからコケ未練に且那方の對手の處がそれまで、水野の御前

お胸が晴れるやうに長兵衛はつかみ料理を戴きますと槍先をウンと押へて自分で脾腹の處へそれを當がひまして
有難やつかみ料理の水野



の旗本一軒は此長兵衛が命にかへて取潰して見せるから……何れ冥土で會ひませう、サア突け」
再び其やりを受けました左う斯うするうちに立出でましたる處の大勢が惡口を吐き
「長兵衛！頃の遺恨思ひ知れ」
と大勢でございましてそれへ斬り付けました、幾ら長兵衛豪い人でも素より死ぬ氣で来たのでございませ

殿

閻魔の前でお禮申さんと高らかに呼ばはりながらブスツと自分で槍を突ッ込んだ、ソレと云ふと大勢へ寄つて参ります、長兵衛は兩眼をクワツと開いたなり
「氣の毒だが水野どん天

たさう」
「是は當家へ差置きまする譯に行きませぬ、日の暮れるのを待つて神田川へ投込みますれば必ず荒海へ流れ出で鯨鯨の餌食になりまする」
「ソム好きに致せ」
「委細長まりました」
と其時に長兵衛の死骸を荒蕪へ包みまして川へ流した、サア其後何か評判ではございませぬが、水野の屋敷では荒蕪と云ふものを用ひなかつたさうです、何うも荒蕪を日暮になりまして厚敷へ擴げて置くと、自然とコレへ血が滲み出たと云ふことを稱へる者がございませぬ、然しマア蕪の話はど

うでも宜いやうなもの、火の點るのを待つてグルグルの巻に致し、到頭神田川へ長兵衛の死骸を抛り込んだ。
お話分れて唐犬權兵衛、放駒四郎兵衛、夢の市郎兵衛、金神の長五郎などと云ふ人々が豫て元締長兵衛と死装束を拵へて、水野の屋敷へ斬り込む約束をして置きました、其日から長兵衛の姿が見えなくなりまして、たので、一同は大いに心配いたして居ります。

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八番)

藤田女學校前

入院のお需めに應ず
自炊の便あり

市内産 貝焼



魚問屋
店理代平命生本日本最大優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

時計高

蓄音器橋

レコード時

眼鏡類計

懷中電燈店

平町搔槌小路

市原醫院

平町田町

電話一一四番

紅葉狩には！ ぜひ錦水の

折詰辨當を御供させて下さい
— 多少に不拘出前迅速 —

錦水

電四五四

味覺の秋!!

仙の干やなぎ

賣初めました

其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛

平町土橋

仙鈴藏魚店

電話六六二番

内科小兒科 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番